



## セルフケア ポータルの設定

---

- [Prime Collaboration Self-Care の概要, 1 ページ](#)
- [Self-Care アカウントの作成, 2 ページ](#)
- [バッチ プロビジョニングを使用した Self-Care の有効化と無効化, 3 ページ](#)
- [Prime Collaboration Self-Care の開始, 3 ページ](#)
- [個人設定のカスタマイズ, 3 ページ](#)
- [Self-Care ユーザ移行スクリプト, 10 ページ](#)

## Prime Collaboration Self-Care の概要

Prime Collaboration が提供する Self-Care ポータルでは、サブスクライバがユーザ名、パスワード、プライマリユーザデバイスなどの環境設定を制御できます。Self-Care ポータルを使用して、自分のアカウントやサービスを更新することができます。Self-Care 機能によって、回線設定の変更、サービスの管理、ボイスメールボックスとボイスメール PIN の追加とリセット、電話オプションの設定が可能になります。Self-Care ポータルは、複数の Cisco Unified CM クラスタ、Unity Connection クラスタと IM&P クラスタ全体のユーザサービスをカバーします。



---

(注) Cisco Unified Communications Manager が 2 名以上のユーザ間で共有されているときに、1 名以上のユーザが LDAP を使用している場合は、Cisco Unified Communications Manager のバージョンにかかわらず Prime Self-Care が使用されます。

---

Prime Collaboration Self-Care を有効にするには、[Self-Care アカウントの作成, \(2 ページ\)](#) を参照してください。

## Self-Care アカウントの作成

Self-Care アカウントはスタンドアロン（Assurance と Provisioning で別々のログインを使用）またはコンバージド（シングルサインオンで Assurance と Provisioning の両方を利用可能）の Prime Collaboration Provisioning で作成できます。作成するユーザごとに Self-Care を有効または無効にできます。

Prime Collaboration Provisioning では、Self-Care アカウントを作成できます。作成するユーザごとに Self-Care を有効または無効にできます。



(注)

- Self-Care 権限を割り当てるには、新しいドメインを作成する際に CreateSelfCareAccounts ルールを有効にする必要があります。CreateSelfCareAccounts ルールは、デフォルトで無効になっています。
- Self-Care Migration Utility を実行して、既存のドメインの Self-Care 権限を割り当てることもできます。これにより、既存のユーザの Self-Care 権限が有効になります。詳細については、[Self-Care ユーザ移行スクリプト](#)、(10 ページ) を参照してください。
- [SelfCareUser] チェックボックスは、CreateSelfCareAccounts ルールが有効な場合にのみ使用できます。
- ユーザの作成後、そのユーザは、globaladmin または domain-admin がアカウントパスワードを変更した後に限り、Self-Care にログインできるようになります。デフォルトでは、ユーザのパスワードは空です。[DefaultCUPMPassword] データフィールドでデフォルトのパスワードを指定し、[有効 (Enabled)] を [はい (true)] に設定して、デフォルトのパスワードを設定します。
- ユーザ ドメインが Active Directory で認証されると、セルフケア ログインはそのユーザ ドメインに定義された AD サーバを使用します。

ユーザの Self-Care アカウントを作成するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1 [ユーザ プロビジョニング (User Provisioning)] を選択します。
- ステップ 2 [ユーザの追加 (Add User)] をクリックして、[Prime Collaboration Self-Careを有効 (Enable Prime Collaboration Self-Care)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 3 必要なユーザ情報を入力して保存します。

# バッチ プロビジョニングを使用した Self-Care の有効化と無効化

新しいユーザの作成時に、バッチ プロビジョニングを使用して Self-Care を有効にできます。Self-Care をユーザに対して有効にするには、バッチ操作ファイルで承認権限を SelfCareUser として提供します。

バッチ プロビジョニングを使用して、既存ユーザの Self-Care 権限の有効または無効を切り替えることもできます。有効にする場合は SelfCareUser として承認権限を提供し、無効にする場合はバッチ操作ファイルで何も提供しません。



(注) Self-Care アカウントを作成するには、ドメインに対して CreateSelfCareAccounts ルールを有効にする必要があります。

バッチ プロビジョニングの詳細については、[バッチ プロジェクトの管理](#)を参照してください。

## Prime Collaboration Self-Care の開始

ユーザ権限に応じて Self-Care を開始できます。



(注) IE 10 を使用している場合、Self-Care ポータルを正常に機能させるには [標準 (Standards) ] モードを選択する必要があります。

Self-Care 権限だけを持つユーザは、ログイン後にセルフケア ポータルが表示されます。

### 手順

**ステップ 1** ブラウザで `http://<provisioning-ip>/cupm/selfcareuser/Login` と入力します。

**ステップ 2** Self-Care クレデンシャルを使用してログインします。  
ユーザには Self-Care 権限しかないため、アクセスできるのは Self-Care メニューだけです。このようなユーザは Provisioning メニューを利用できません。

## 個人設定のカスタマイズ

Self-Care を使用すると、次の電話の用途に関して、個々の属性や個人の初期設定を設定できます。

- スピードダイヤル番号、サイレント機能のオプション、および保留音の設定などの電話オプション
- エクステンション モビリティとシングル ナンバー リーチのオプションを設定できる、プロファイルのオプション
- コールの転送、発信者 ID、通知など、特定の電話回線のオプション
- パスワード、暗証番号 (PIN) など、電話のユーザに関するユーザ オプション

/opt/cupm/sep/ipt.properties ファイルを更新して、Self-Care ポータルの [電話の設定 (Phone Settings)]、[回線の設定 (Line Settings)]、および [ユーザ設定 (User Settings)] に表示される機能の表示と非表示を切り替えることができます。たとえば、[電話の設定 (Phone Settings)] の機能を設定する場合は、次のように入力します。

エンドポイントの機能を表示するには、Prime Collaboration Provisioning UI で [管理 (Administration)] > [設定 (Settings)] を選択してください。

```
enabled features for Phone Settings should be provided as follows:
General, SpeedDials, DoNotDisturb, Locale, MusicOnHold, Others
dfc.ipt.selfcare.phone.features=General, SpeedDials, DoNotDisturb, Locale, MusicOnHold, Others#
```



(注) ipt.properties ファイルを更新するには、ルートユーザとしてログインする必要があります。変更を有効にするためには、cupm サービスを再起動する必要があります。

Self-Care オプションを設定するには、次の手順を実行します。

## 手順

**ステップ 1** ブラウザで次を入力します：<http://<provisioning-ip>/cupm/ipt/selfcare/home.html>。

**ステップ 2** ユーザ名とパスワードを入力します。

Self-Care ポータル画面が表示されます。Self-Care ポータル画面は、次の要素で構成されます。

- 電話カルーセル：（画面左下の）電話カルーセルには、設定可能な電話とサービスプロファイルのアイコンがあります。アイコンのいずれかの横側をクリックすると、追加の電話またはプロファイルを表示できます。
- メイン メニュー：（電話カルーセル右側の）メイン メニューのオプションは、[電話の設定 (Phone Settings)]、[回線の設定 (Line Settings)]、および [ユーザ設定 (User Settings)] です。電話カルーセルで選択した内容に応じて、[電話の設定 (Phone Settings)] オプションは、[エクステンションモビリティの設定 (Extension Mobility Settings)] または [シングルナンバーリーチの設定 (Single Number Reach Settings)] に変化します。
- 設定エリア：選択したメイン メニューの設定可能なカテゴリが次に表示されます。[スピードダイヤル (Speed Dials)] などのカテゴリをクリックすると、画面の右側に設定可能なオプションが表示されます。

**ステップ 3** 電話カラーセルで、設定する電話またはプロフィールを選択します。

**ステップ 4** [回線の設定 (Line Settings)] メニューで、設定するオプションに対応する適切な回線を選択していることを確認します。

Self-Care ポータルで設定可能なオプションは次のとおりです。

- [電話機またはエクステンション モビリティ設定 (Phone or Extension Mobility Settings)] の設定
- [シングル ナンバー リーチの設定 (Single Number Reach Settings)] の設定
- [回線の設定 (Line Settings)] の設定
- [ユーザ設定 (User Settings)] の設定

## 電話およびエクステンション モビリティの設定

次の表に、Self-Care を使用して実行できる電話とエクステンション モビリティの設定を示します。

表 1: 電話およびエクステンション モビリティの設定

設定	説明	手順
一般	電話機の MAC アドレスを更新し、ボイスメールボックスのロックを解除します。	[電話の設定 (Phone Settings)] > [MAC アドレス (MAC Address)] を選択し、電話の有効な MAC アドレスを入力して、[保存 (Save)] をクリックします。
スピードダイヤル	スピードダイヤル用の電話番号を追加します。  スピードダイヤルの間隔を空けるには、数字の間にカンマを追加します。任意の数のカンマを追加できます。カンマ 1 個あたりのデフォルトの遅延は 2 秒間です。	[電話の設定 (Phone Settings)] > [スピードダイヤル (Speed Dials)] を選択し、[追加 (Add)] をクリックします。必要な情報を入力し、[保存 (Save)] をクリックします。
サイレント	[サイレント (Do Not Disturb)] 機能を有効または無効にします。  [サイレント (Do Not Disturb)] 機能が有効になっているとき、着信コールがあった場合に実行するアクションを選択します。	[電話の設定 (Phone Settings)] > [サイレント (Do Not Disturb)] を選択し、[[サイレント]を有効にする (Enable Do Not Disturb)] チェックボックスをオンにします。

設定	説明	手順
ロケール	作業とネットワークでサポートする時間と言語のロケールを選択します。	[電話の設定 (Phone Settings)] > [ロケール (Locale)] を選択し、[ユーザロケール (User Locale)] ドロップダウンリストから場所を選択し、[保存 (Save)] をクリックします。
保留音	保留にしたときに再生される音楽のソースを選択します。	[電話の設定 (Phone Settings)] > [保留音 (Music On Hold)] を選択し、コールを保留にしたときに再生する音源を [ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)] ドロップダウンリストから選択して、[保存 (Save)] をクリックします。
その他	次のオプションを有効または無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーフォン</li> <li>• スピーカーフォンとヘッドセット</li> <li>• ビデオ</li> <li>• PC ポートの使用</li> <li>• エクステンション モビリティ</li> </ul>	[電話の設定 (Phone Settings)] > [その他 (Others)] を選択し、各オプションのチェック ボックスを必要に応じてオンまたはオフにして [保存 (Save)] をクリックします。

## 回線の設定

次の表に、選択した電話またはプロフィールの各回線で使用可能な回線の設定を示します。

表 2: 回線の設定

設定	説明	手順
コール転送	デフォルトのコール転送オプションを設定します。 外部または内部の着信コールの転送をカスタマイズします。	[回線の設定 (Line Settings)] を選択し、 [コール転送 (Call Forward)]、[発信者ID (Caller ID)]、[通知 (Notification)]、または [保留音 (Music On Hold)] を選択して更新し、 [保存 (Save)] をクリックします。
発信者 ID	発信者 ID オプションを設定します。	
通知	着信コールとメッセージの通知のオーディオおよび ビジュアル オプションを設定します。	
保留音	コールを保留にしたときに再生される音楽のソース を選択します。	

## ユーザ設定

使用可能な [ユーザ設定 (User Settings)] のオプションを、次のリストで説明します。

表 3: ユーザ設定

設定	説明	手順
情報	名前を更新します。 自分の電子メール アドレスを入力しま す。 プライマリ Phone を選択します。	[ユーザ設定 (User Settings)] を選択 し、[情報 (Information)]、[パス ワード (Password)]、または [暗証 番号 (PIN)] を選択して更新し、 [保存 (Save)] をクリックします。
パスワード	パスワードを更新します。	
PIN	暗証番号を更新します。	

## 共通 Self-Care タスク

次の表に、ユーザが実行できるすべての共通 Self-Care タスクを示します。

表 4: 共通 Self-Care タスク

タスク	手順
パスワードを変更する	[ユーザ設定 (User Settings)] > [パスワード (Passwords)] を選択します。
暗証番号を変更する	[ユーザ設定 (User Settings)] > [暗証番号 (PIN)] を選択します。  (注) 電話とボイスメールの暗証番号を変更できます。電話の暗証番号は、Cisco Unified Communications Manager (またはエクステンション モビリティの) の暗証番号をリセットし、ボイスメールは Unity Connection の暗証番号をリセットします。
スピーカフォンの使用を無効にする	[電話の設定 (Phone Settings)] > [その他 (Others)] を選択し、[スピーカフォンの無効化 (Disable Speakerphone)] チェックボックスをオンにします。
エクステンションモビリティを有効にする	[電話の設定 (Phone Settings)] > [その他 (Others)] を選択し、[Ciscoエクステンションモビリティ (Cisco Extension Mobility)] チェックボックスをオンにします。
ビデオ コールを有効にする	[電話の設定 (Phone Settings)] > [その他 (Others)] を選択し、[ビデオを有効にする (Enable Video)] チェックボックスをオンにします。
コールを転送する	[回線の設定 (Line Settings)] > [コール転送 (Call Forward)] を選択し、着信コールを転送するオプションを設定します。
電子メール情報を提供する	[ユーザ設定 (User Settings)] > [情報 (Information)] を選択し、電子メールアドレスを入力します。
プライマリデバイスとして異なる電話を選択します。	[ユーザ設定 (User Settings)] > [情報 (Information)] を選択し、[プライマリデバイス (Primary Device)] ドロップダウンリストから優先デバイスを選択します。
コールおよびメッセージ通知を選択する	[回線の設定 (Line Settings)] > [通知 (Notification)] を選択し、着信コールとメッセージの通知オプションを選択します。
コール保留音のソースを選択する	[電話の設定 (Phone Settings)] > [保留音 (Music On Hold)] を選択し、ユーザまたはネットワークによってコールが保留にされたときに使用する音源を選択します。



## シングルナンバー リーチの設定

シングルナンバー リーチ機能では、別の電話番号とビジネス IP 電話番号を関連付けることができます。ビジネス電話番号にコールが着信すると、そのコールは Cisco Prime Collaboration Provisioning によって自動転送され、ビジネス電話機と指定された電話機が鳴ります。このような方法で、シングルナンバーリーチ機能により、受信者の場所にかかわらず、発信者は単一の番号をダイヤルして受信者に電話をかけることができます。

シングルナンバー リーチ用の代替番号を設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1 電話カルーセルで、リモート接続先プロファイルに関連付けられているアイコンを選択します。
- ステップ 2 [シングルナンバー リーチの設定 (Single Number Reach Settings) ]> を選択します。
- ステップ 3 [表 5: シングルナンバー リーチのフィールドの説明, \(9 ページ\)](#) の表の説明のとおり情報を指定し、[保存 (Save) ] をクリックします。
- ステップ 4 必要に応じて、[新規追加 (Add New) ] をクリックして別の代替番号を追加します。

表 5: シングルナンバー リーチのフィールドの説明

フィールド	説明
[代替番号 (Alternate Number) ]	プライマリ電話でコールを受信したときに、Cisco Prime Collaboration Provision がそのコールを転送する代替番号を入力します。
[説明 (Description) ]	(オプション) 代替番号の説明を入力します。
[リーチミーエニウェアを有効にする (Enable Reach Me Anywhere) ]	このチェックボックスをオンにすると、着信コールで複数の電話機が同時に鳴ります。
[これはモバイルデバイスです (This is a mobile device) ]	モバイルデバイス用の代替番号の場合は、このチェックボックスをオンにします。
[代替番号を呼び出し始めるまでの時間: 秒 (Allow me ... seconds to answer) ]	プライマリ電話でコールが応答されるまで Cisco Prime Collaboration Provision が待機する時間の長さを入力します (1/10 秒単位)。この時間が経過すると、コールは代替番号に転送されます。
[代替番号を呼び出し続ける時間: 秒 (Continue ringing the alternate number for ... seconds) ]	Cisco Prime Collaboration Provision が代替番号の呼び出し音を鳴らす時間の長さを入力します (1/10 秒単位)。

フィールド	説明
[コールを代替番号に接続しないようにする猶予時間: 秒 (If the alternate number answers within ... seconds)]	代替デバイスにコールを転送した後、そのデバイスにコールを接続するまで Cisco Prime Collaboration Provision が待機する時間の長さを入力します (1/10 秒単位)。この待機時間を設定すると、コールによってボイス メールなどの自動応答がデバイス上で開始されないように防止することができます。
[回線の関連付け情報 (Line Association Information) ]	この代替番号に関連付ける回線のチェックボックスをオンにします。

## Self-Care ユーザ移行スクリプト

SelfCareMigrationUtility は、移行中または CLI から移行後に起動できます。このツールは、CreateSelfCareAccounts ルールおよび DefaultCUPMPassWord ルールセットを持つドメイン内のすべてのユーザを処理します。

移行の詳細については、『[Cisco Prime Collaboration Upgrade and Migration Guide](#)』を参照してください。